

中高生スポーツ交流会～バスケットボール3on3大会～

取組の背景・目的

- 企画をきっかけとした中高生への児童館の周知
- 中高生の居場所づくり
- スポーツを通じて交友関係を広げる
- 学区・地域を超えた交友関係づくり

取組の概要

- 実施場所
福生市 武蔵野台児童館
- 実施頻度
年1回、18時～20時(令和4年度新規事業)
- 職員体制
常勤3名、福生市内の3ヶ所の児童館から参加を募っている為、各館必ず1名職員が参加する体制をとっている
- 事業の実施方法
(委託事業：NPO法人ワークスコープ)

工夫点・留意点

- 開催に基づいて、事前に中高生に参加しやすい曜日、時間帯の聞き取りを行なった。
- 帰宅時間が遅くなるため、参加届に保護者へのお知らせ、開催場所の連絡先を記載し、児童の安全面を配慮した。
- 普段、部活動等で利用が少なくなる中高生の為に、申込み開始の1ヵ月以上前から、告知を行なった。
- 学区・地域を超えて交友関係を築いてもらう事が大きな目的だった為、学校・学年関係なく、ランダムにチームを振り分けた。
- 職員もチームの一員として参加し、異世代交流を行なった。

取組の効果

- 初対面同士で緊張はあったものの、スポーツを通じて自然と打ち解けることができた。
- 異年齢の交流の場だったこともあり、高校生はリーダーシップを発揮し、精神的な部分の成長を見せてくれた。
- 中学生は、自分たちより体格も技術も上の高校生とプレーできた事で、スピードやパワーを体感できたことに加え、スポーツの新たな魅力も感じていた。
- 開催した児童館以外の児童館を利用していた中学生が、学区を超えて他館へ遊びに行くようになった。
- 事業を終えた直後には、次回の開催を望む声に参加者から出ていた。

課題・今後の展開

- 幼児親子や小学生の利用もあるため、開催時間が遅くなってしまう。
- 中高生の利用頻度が、小学生に比べて少ない為、告知が難しい。
- たくさんの中高生に参加してもらうために、スポーツのジャンルや日程などを検討し、中高生の居場所づくりを、引き続き行なっていきたい。
- “学区・地域を超えて友だちの輪を広げる” きっかけをつくっていきたい。